

平成27年度 北九州市発達障害者支援モデル事業

行動障害がある発達障害児者への 支援の実際

平成27年12月13日

発達障害者支援モデル事業

(目的)

自閉症、アスペルガー症候群等の広汎性発達障害、学習障害及び注意欠陥多動性障害等の発達障害児(者)について、先駆的な支援の取り組みをモデル的に実践し、その分析・検証を行うことで発達障害児(者)に対する有効な支援手法の確立を図ることを目的とする。

研修会の目的

「行動障害の予防における効果的な支援手法開発」

- 行動障害がある発達障害の方に対して効果的な支援を実施している市内の特別支援学校や福祉サービス事業所の取り組みを、市内の教育関係者及び福祉サービス事業所職員対象に研修会を開催し、報告する。参考になる事例を知ることによって、行動障害や二次障害を予防するための支援手法を学び、現場に取り入れることを目的とする。

本日の報告

① 企救特別支援学校 教諭 居原 孝侍氏
「」

② ひよりの丘 支援員 和田 恵子氏
「」

コメンテーター

福岡教育大学特別支援教育講座

准教授 倉光 晃子氏

スケジュール

- 趣旨説明 10:00～10:05
- 2名より報告 10:05～11:05
- 休憩 11:05～11:20
- パネルディスカッション 11:20～11:50
- まとめ 11:50～12:00

※質問用紙をお配りします。つばさスタッフがフロアーを回りますので、質問がある方は箱に入れてください。時間の関係等で、すべての質問にお答えできない場合がありますかもしれないので、ご了承ください。